熱中症対応マニュアル





涼しいところ(風通しの良い軒下、木陰など)に運び、衣服を緩めて寝かせる

意識の確認(名前、年齢など言わせる) 呼吸、脈拍、顔色、体温のチェック





熱けいれん

塩分の不足、四肢や腹 筋のけいれん、筋肉痛





めまい、吐き気、頭痛、 顔面蒼白

熱疲労・熱射病

高体温、脱力感、倦怠感、頻 脈、吐き気、嘔吐、意識障害









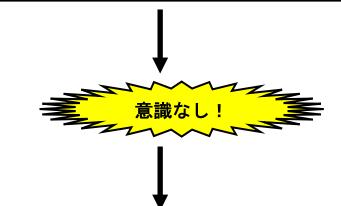
生理食塩水(0.9%=1 リット ルの水に9gの食塩)を補

- 1. 氷やアイスパックで頸部、わきの下、足の付け根など太い血管が走ってい る場所を冷やす。
- 2. 霧吹きなどで水をかけたり、送風できるもので全身を扇ぎ、冷却する。
- 3. スポーツドリンク(塩分0.1~0.2%、糖分3~5%)を補給する。
- 4. 足を高くして寝かせ、冷水で冷やしたタオルで全身、特に手足の末梢部と 体幹部をマッサージする。(皮膚血管収縮防止のため)



回復

- ・回復しても、その日のうちは無理 をさせず様子を見る
- 保護者へ連絡(家庭での経過観察 をお願いする)
- 保護者へ経過観察後の連絡をとる
- ・管理職へ報告



病院へ搬送

- 上記の症状が治まらない場合には、医療機関へ搬送し、点 滴などの治療をうける
- 保護者へ連絡し、搬送先、搬送方法を相談する(学校か、 家庭か)
- 管理職へ報告
- 搬送後の様子について、保護者、管理職と連絡をとる

大至急、病院へ救急搬送!

- ・からだを冷やしながら、集中治療が行え る病院へ一刻も早く救急車で搬送する
- 保護者へ連絡
- ・ 管理職へ報告
- · AED の使用